

※一部非公開

令和2年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

人文社会学部 人間社会学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 回答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 回答用紙のほかに、下書き用紙を配布するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

非公開

(奥田知志・茂木健一郎, 『「助けて」と言える国へ一人と社会をつなぐ』, 集英社, 2013年, 212～214ページ, 抜粋・一部改変)

以上の文章の内容を踏まえて、以下の問いに答えなさい。

問1 あなたが大学で学ぼうとしていることに関連付けて、この文章の内容を端的に表す単語(キーワード)を3つ、挙げなさい。キーワードは、文中から選んでもよいし、

自分で考案してもかまいません。

問2 その3つのキーワードを用いて、あなた自身の考えを、1000字以上1200字以内で論じなさい。

令和2年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

人文社会学部 人間社会学科

出題の意図

人間社会学科は、人間を中心に据えながら、人類が直面する問題を社会・文化・地域・環境といった多角的な視点から探求し、幅広い知識と寛容の精神をもって時代の創造者になるような人材育成を目指す。

特に推薦入試Ⅱの小論文においては、人間社会学科がアドミッション・ポリシーで求めている諸能力のうち、理解力、考察力、論理的思考力、記述力、構成力等を評価の対象とする。

本問で使用するのは、ホームレス状態にある方への支援に長年奔走されてきた牧師・奥田知志氏の『「助けて」といえる国へ-人と社会をつなぐ』という著作の一部である。使用した文書においては、野宿当事者の語りをもとに、野宿者のもつ世界と他者との関わりの中で自己を回復する支援について記されている。

問いでは、社会的排除の中にある野宿者を理解した上で、他者との関わり必要性について、大学での学びに引き付けて論知的に思考し記述する力が試される。